

# 門信徒だより

2020 5月 中旬

和上 発

改めて我ら聖人の御手許を訪ねて、六字名号のお話です。

さんぶきょうしゃく  
三部経釈に

「因位いんにの時専ら我が名号を念ぜん者を迎えんと誓ひ玉  
ひて兆載永劫ちようさいようこうの修行を衆生しゅじょうに廻向えこうしたもう」

とありて、本宗聖人は弥陀に限りて名号を廻向して信を  
すすむるは未だ諸仏にはなし。と申されました。

聖人の御本地ごほんじである涅槃ねはんの三徳さんとくを訪ねますと、法身の徳ほっしん・  
般若はんじゃの徳げだつ・解脱げだつの徳であります。

この不思議業相ごうそうの世界は、我ら如来聖人のサトリの果を  
得られた覚者に自然じねんに備わる徳と云われます。

今回は蓮如上人のいろは歌から、

”六道にひく業障の綱を切る、剣なりけり弥陀の名号”

を縁として「弥陀の名号」を訪ねてみますと、

般若はんじゃの徳、即ち権者ごんじゃの智恵の御徳で、前聖人の仰せには、

「名号は何ものを以て おおいかくそうとしても、か  
くすことのできない焼ゆる佛心おたけの雄叫び」

が如来聖人の口音宣述こうおんせんじゆつによってその周囲に居られる人々  
に対して為される所作しよさでありました。

聖人の仰せは先ず、名号みょうごうは名体不二みょうたいふにの特長を持たれ  
「名」みょうは、たとひ罪業は深重いへどなりと雖も必ず救ふべし。  
と喚よび上げ下しやうかんさる招喚ちやくめいの勅命てつめいであり、  
「号」ごうは勅命せつしゆふしやの内容で、攝取不捨ごとかくの如ぶつたいしの佛体  
であって、名言みょうごんと仏体ぶにの不二ふにの關係が成立しております。

次は「攝取して捨てざれば阿弥陀と名けたてまつる」  
名体不二の名号は、

南無きの機きと阿弥陀仏の法とを一つの名号のうちに  
含識がんしきし玉たまふを南無阿弥陀仏の体と申され、これが弥  
陀独特の法なることが明かされました。

南無の機は我らからすれば弥陀をたのむはずみは・ず・みとなっ  
て下ごうりきさる業力せんびようを詮表してくださる佛心であり、  
阿弥陀佛の法は、南無の機ごうじようえんの為の増上縁がんりきとなって、願力  
不思議を如来廻向として働かれる法の仕組みきほういったいの機法一体  
の特長なのです。

この二大特長を持つ我らの名号成就を法然上人ほうごの法語か  
ら仰げば、

「弥陀如来は因位いんにの時、もっぱらわが名号を念ぜんも

のをむかへんとちかひ給ひて、兆載永劫ちようさいようこうの修行を衆生に廻向し給ふ。濁世じよくせのわれらが依怙えこ、末代の衆生しゅつりの出離しゅつり、これにあらずばなにをか期せんや。これによりて、かのほとけもみづから我建超世願がこんちようせがんとなのり給へり。三世の諸仏も、いまだかくのごときの願をばをこし給はず。十方さつたの薩埵さつたもいまだこれらの願はましまさず。」

とあります。

この指南は弥陀一仏のみが名号しゅじょうを衆生に廻向されることの証文で、この名号は凡夫に対して第十八願の「信」を与ふる為に成就下さったことが目的でありました。

これを十八成就文には「聞其名号もんごみょうごう」と仰せで、その名号を聞きひらかれたる時「信心歡喜」の「信心」があらわれて、

この信しんぎょう（如来の信樂）が我らの無明むみょうを破って恵明えみょうの光りが自我の魂に輝かれ、命ほうおんあらん限り報恩の人生を展開させて下さるのでした。

正信偈の小経を明かす段には、

「弥陀仏の本願念仏は、邪見・憍慢・悪衆生、信樂受持すること甚だ以て難し、難中の難これに過ぎたるは無し」

の信樂しんぎょうが第十八願ちゅうかくの中核と明かし、これこそ、如来ご自身の満足えんゆう・大悲むげ・円融いとく・無碍いんげんの威徳がこの願心いんげんに印現いんげんして、

信樂に満足えんゆうの働きあるゆえに我らの願樂がんぎょう悉々く満足せずと云うことなし。

大悲の働きあるが故に樂を与ふるときはみなし。

円融えんゆうの働きあるゆえに能所不二のうじよふにと転ぜられ、無碍むげの徳こうたくあれば一切こうむみな光沢を蒙る。

と御宗祖しやくいの釈意でありました。

第十八願の如来の三信が信樂に納められ、この信樂を凡夫に与えん為に乃至十念の弘願念仏がある。

何とした如来本願の仕掛けでありましょうや。

この五劫思惟の本願こそ六字名号のお体であり、今はこのお体が如来聖人みょうしょうの名声となって現在の我らに発表されて、乃至一念と定まる時、如来いんじの因地の万行かじ・果地の万徳が摂取不捨の姿と現れて三重の生死の罪まつに締わられて全く自由なき盲目の我らに顕現される本願の不思議力こそ、鬼が念佛し、悪魔が心の手こころに念珠をかける如き光景こそ、在家仏教の神髓でありましょう。

不 許 複 製

所有者 弘願真宗総本山聖玄寺法燈局

住所 福井県福井市羽水 1-303